

ニュースから考える

税理士の佐藤（寿）です。

米国大統領にバイデン氏の当選が確定しそうですが色々な噂話が流され混乱しています。今回の選挙・・・バイデン氏は過去最高の投票数を獲得、敗れたランプ氏も過去当選したどの大統領より



も票を獲得するという結果となりました。

しかし、投票にはある傾向があるようです。例えば新型コロナ対策を重視

するグループはバイデン、経済を重視するグループはトランプ。また、既得権層への攻撃で大衆の人気を集めようとするトランプへ既得権層は反トランプに投票など国民間の意見の相違による**分断**が懸念されています。

一方、世界1位の経済大国の混乱に乗り第2位の**隣人**(中国)の迷惑行為に世界が手を焼いています。たとえば南シナ海の軍事基地化、香港・台湾への圧力、ほぼ毎日の尖閣への侵入、ハッキングによる先端技術情報の窃取など世界の警察を自認していた米国の混乱の中やりたい放題の状態です。

国際政治学者のイアン・ブレマー氏は米国の弱体化、某国の台頭への対策として日本に期待を寄せております。その理由として以下の点を指摘しています(2020/11/29 読売)。

1. 世界第3位の経済規模
2. 反既得権益意識が少ない(分断されていない)
3. ポピュリズム(大衆迎合主義)ではない

要は・・・国が豊かで、国民間の所得格差も少なく、自分勝手な発言や行動が少ない国民が住む国なのだから国際社会で活躍しなさいとの事ようです。しかし、出しゃばるのが苦手な国民性ですから・・・。

そうそう・・・報道しない自由のおかげで日本では話題となっていませんが米メディアによると10の主要指数でコロナ禍でも安全な国として日本が2位(1位ニュージーランド、3位台湾、4位韓国)となりました。毎日毎日・・・テレビや新聞で国内のコロナ対策が最悪のように批判されていますが世界ではコロナ対策で一定の評価を受けています。

麻生大臣の言う・・・「民度が違う」冷静な国民性でこの危機を乗り越えましょう!

1分でわかる業務カイゼン

日本人の国民性

『新・世界の日本人ジョーク集』(早坂隆/中央公論新社 2017)は世界中で楽しまれているジョークのうち、日本人が登場するものを選びすぐって集めたジョーク集ですが・・・一例を紹介します。

地球滅亡の前日に思うこと・・・

- イタリア人 「愛人と共に過ごそう」
- ロシア人 「今日は二日酔いを気にせずに飲もう」
- 日本人 「仕事を今日中に終わらせよう」



日本人 = 真面目・働きものとのイメージのようです。しかし、このジョークについて現代は違うかも・・・と違和感を感じる方も多いと思います。決して悪い意味で言っているわけではありません。価値観が時代と共に変化したのです。

「経営者」としては昔の日本人のように低賃金で長時間、黙々と文句も言わず熱心に働いて欲しいと考えるでしょう。一方、「従業員」としては

自分の与えられた時間を「労働力と貨幣の交換」と考え、効率の良い仕事を探し求め、自分が自由に出来る時間を最大化したいと考えます。この労使間の考え方のギャップは解決不可能な永遠の課題となりました。

経営者と従業員の分断

米国は人種、宗教などが異なる多種多様な人々が共存する国家です。当然、成育歴や宗教観が違えば異なる意見を主張し、対立が深まる事は必然なのかも知れません。しかし、海外で起こるデモや暴動ですが・・・わが国では皆無です。

ただし、一人一人に感情が無い訳ではありません。政治に物を申さない国民性ですが経営者への不満に関しては毎日のように「愚痴」という形で社員通しが共有します。ある日突然・・・数名が同時に辞めたとの話を聞く事も多々あります。たまたま不満でクーデターを起こすのは世界共通と言えます。

自己主張

外国では自己主張しないといけないと生きてけない又は無能だと思われるとの話は皆さんも良く聞くのではないのでしょうか？

私個人の見解ですが・・・一人一人の経験に基づく知見のある意見は宝です。しかし、狭い見識の中で自分の考えは正しいと他人に押しつける発言は有害なものです。たとえば、政治家や学者、TVのコメンテーターはこのような発言をご商売にしているようですが・・・一般社会においては迷惑な隣人のような存在です。勿論、経営者や従業員にもそのようなタイプの人はいます。

経営者の悩みのひとつに「人の問題」があります。ベテランの暴言(本人は正しいと思って人を責める)で社内の分断が広がり、結局は弱い立場の従業員が辞めて行くのを繰り返すと



嘆いている経営者のお話を良く聞きます。実際、害をばら撒いているご本人は善人気取りですから付ける薬がありません。

私の経験では、会社のトラブルの大半は経営者も含めた会社内の人の分断が原因と言えます。つまり、人と人のトラブルをうまく解決する能力が経営者には不可欠のようです。

今月のことば

顧客満足と社員満足（従業員満足）と企業満足（収益）とは相互に矛盾なく一体化させなければならない。そう簡単に解くことはできない方程式だ。だが、これを解いたときに顧客満足への歯車は回転する。

（ランチェスター）

編集後記:

先日、北大病院に呼ばれました・・・「IT機器を使った病気の改善」という研究サンプルに選ばれたからです。「スマホ」に「スマートウォッチ、血圧計、体重計」のデータを連動させ、アプリで管理・計測し健康になろう！との研究です。しかも、医学博士とのマンツーマンでのメール対応付きです。自分自身やドクターが数値を毎日確認するので健康になりそうな予感がします。

改めて数値（試算表）で健康（企業の業績）を管理し、体質（業績）改善を進める私たちの仕事の大切さを感じています（寿）

当事務所のお客様の最近の黒字決算割合（TKCが証明するデータを使用しています）

最近1年間：84.2%

（国税局の発表によると法人の黒字割合は34.2%（29年4月～30年3月）です）